

# エコスクールだより

大津市立逢坂小学校

環境教育通信

No.1

2016.7.12



1学期も終わりに近づき、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みになります。保護者の皆様には日頃から本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

「エコスクールだより」では、本校の環境教育の取り組みや、各学年の学習の様子を皆様にお伝えします。

## 1. エコスクールについて

エコスクールプロジェクトは1994年頃からヨーロッパで始まったプロジェクトです。当初はヨーロッパ連合（EU）域内の取り組みでしたが、今では世界的な取り組みへと広がってきています。滋賀県では平成13年度から4つの小中学校をモデル校としてスタートしました。

この取り組みは、将来の社会づくりの主役となる児童生徒が、主体的に環境学習や環境保全活動に取り組む力を身につけることを目指しています。本校は、平成16年度から昨年度まで、継続的にこのエコスクールの事業に参加し、12年連続で認定を受けています。



## 2. 本校のエコスクールの取り組み

### (1) キックオフ宣言（活動テーマの決定）

『気づこう 学ぼう 続けよう 大切な地球や逢坂の自然を守るために』

今年度の本校の活動テーマは、『気づこう 学ぼう 続けよう 大切な地球や逢坂の自然を守るために』です。このテーマは、昨年までの学習やさまざまな取り組みを生かして、環境を守るためにできることをみんなで見つけていこう、学んでいこう、そしてこれから先もずっと続けていこうという気持ちを込めて、エコキララ委員会と自然キララ委員会の子どもたちが決めました。

そして、6月7日（火）にエコキララ委員会と自然キララ委員会の委員長が「キックオフ宣言」を行い、エコスクール認定に向けての取り組みを全校に提案しました。

テレビ放送でキックオフ宣言を行い、全校にエコスクール認定に向けての取り組みを呼びかけました。



### (2) エコスクール支援委員会

6月14日（火）にエコスクール支援委員会を開催しました。地域の関係団体、大津市環境政策課、琵琶湖博物館の学芸員さん、PTA役員さんなどにお集まりいただき、本校のエコスクールとしての取り組み

みについて、貴重なご助言をいただきました。来年の2月にも第2回のエコスクール支援委員会を開催し、1年間の取り組みを報告する予定です。



### (3) 委員会の取り組み

☆中心となる委員会

**エコキラキラ委員会** (リサイクル活動を中心に行う)

- ・教室の古紙回収
- ・節電、節水を呼びかける活動
- ・ペットボトルのキャップの回収 など

**自然キラキラ委員会** (栽培・飼育活動を中心に行う)

- ・イチモンジタナゴの繁殖実験
- ・逢坂小水族館(金魚などを飼育している水槽)の管理
- ・雨水タンクの水を使用した花の栽培 など

自然キラキラ委員会の児童が、5・6年の教室の外側にある花壇に花の苗を植えました。水やりは、雨水タンクの水を使用しています。



### (4) 各学年のめざす子どもの姿と取り組み

#### ◎各学年のめざす子どもの姿

| 学年  | 各学年のめざす子どもの姿  |
|-----|---|
| わかば | 楽しみながら身近な環境保全活動に触れ、それらを試みようとする子ども                           |
| 1年  | 積極的に自然に親しみ、自然の素晴らしさを味わうことができる子ども                            |
| 2年  | 身近な自然の多種多様な生き物の存在に気づき、自然を大切にしようとする子ども                       |
| 3年  | 家庭や学校生活などの身近な環境保全活動について調べ、それらを実践できる子ども                      |
| 4年  | 地域の環境保全活動を知り、それらを実践したり地域に働きかけたりできる子ども                       |
| 5年  | 滋賀県の環境問題を知り、自分の生活を改善したり、自分の考えを発信したりすることができる子ども              |
| 6年  | 地球の環境問題に関心を持ち、自分の行動や身近な社会の仕組みと関連させ、生涯にわたって環境保全活動に関わろうとする子ども |

#### ◎各学年の取り組み

| 学年  | 各学年の取り組み   |
|-----|--|
| わかば | 「すてる前にちょっと待て!〇〇に変身」というテーマで実践を進めます。今年は、再生紙に挑戦する予定です。楽しみながら、身近な環境保全活動を学習します。 |
| 1年  | 自然の中での活動を通して、自然に親しみ、自然の素晴らしさを存分に味わう学習を進めます。これらの学習を通して、自然を大切にする気持ちを育てます。    |

|    |  |
|----|--|
| 2年 | 生き物探しなどの自然の中での活動を通して、多種多様な生き物の存在に気づく学習を進めます。これらの学習を通して、生き物がたくさんいる自然を大切に、守っていききたいという気持ちを育てます。 |
| 3年 | 紙のリサイクルなど、家庭や学校で行われている身近な環境保全活動を調べる学習を進めます。調べた活動を家庭や学校で実践できることを目標としています。                     |
| 4年 | 校区を流れる吾妻川の学習を通して、地域の環境保全活動について学習します。学習したことを生かし、実践したり、地域に働きかけたりすることを目標としています。                 |
| 5年 | 琵琶湖環境学習を通して、滋賀県の環境保全活動について学習します。学習したことを生かし、自分の生活を改善したり、自分の考えを発信したりすることを目標としています。             |
| 6年 | 温暖化などの地球規模の環境問題について学習します。環境問題を自分の行動や社会の仕組みと関連させて考え、生涯にわたって環境保全活動に関わろうとする態度を養います。             |

## 6年生の取り組みを紹介します。

6年生では、5月から「地球が危ない ～今わたしたちにできること～」の学習を進めてきました。まず、地球温暖化の現状について学びました。次に、各自が興味を持ったテーマについて、本やインターネットで調べたり、実験を行ったりしました。各グループのテーマは、下記の通りです。

- 生物の絶滅
- 森林の減少
- 水や食料の不足
- 大気汚染
- エネルギー問題
- 異常気象
- 身の回りの化学物質

など



酸性雨の調査のため、ムラサキキャベツを使って指示薬を作っています！

調べていくうちに、それぞれの問題が「地球温暖化」でつながっていることや、簡単には解決できない問題であるということに気付くことができました。夏休みには、それぞれのグループで考えた環境保全の取り組みを実践する予定です。

## 吾妻川の清掃に参加しました。

6/19(日)に琵琶湖一斉清掃の一環として、逢坂三河川清掃が実施されました。本校からも、4年生以上の児童45名と教職員11名の有志が参加しました。あいにくの小雨模様の中でしたが、子どもたちは、川に入って草引きをしたりゴミを拾ったりして頑張りました。

毎年、4年生が吾妻川の調査学習をしています。4年生以上の子どもたちにとって、地域の自然を守っていきこうという気持ちを再確認する貴重な機会となりました。





# エコスクールだより

大津市立逢坂小学校  
環境教育通信

No.2

2016.11.14



立冬を過ぎ、いよいよ朝晩の冷え込みも本格化してきました。子どもたちは寒さに負けず、元気いっぱい学習や遊びに励んでいます。

「エコスクールだより」では、本校の環境教育の取り組みや各学年の学習の様子を皆様にお伝えしています。今回は、3、4年の取り組みを紹介します。

## 3年生の取り組みを紹介します。

### 「身の回りのエコをさがろう

### ～わたしたちはエコスクールキッズ～

3年生のめざす子どもの姿は、「家庭や学校生活などの身近な環境保全活動について調べ、それらを実践できる子ども」です。そこで、「身の回りのエコを探ろう」をテーマに、生活の中のエコを探ることから、環境学習をはじめました。

まず、『エコ』とは、どういうことだろう？ということを中心にみんなで話し合い、「生活の中で自然を守るために工夫をすること」と考えました。そして、学校や家庭でエコ探しを行い、紙のリサイクルや節電、節水などさまざまなエコがあることを知りました。

また、学校の古紙回収に関わってくださっている「黒田紙業」さんにお話を聞きました。

アニメの映像を使って古紙リサイクルの仕組みや大切さ、  
3R Reduce (リデュース)  
Reuse (リユース)  
Recycle (リサイクル) についてわかりやすく教えていただきました。



黒田紙業さんのお話

その後、自分が調べたいエコのテーマを決めて、本などで調べ学習を進めたり、調べたことを友達と交流したりして、エコへの理解を深めました。そして、一人ひとりが、自分で実践しようと思うことを宣言し、エコに対する意識を高めました。

今後は、これまで学習してきたことを生かして、学校や家庭でできる取り組みを考え、実践したり、周りの人たちに呼びかけを行ったりしてほしいと考えています。また、3学期には、社会科で

昔の暮らしについて学習します。昔の暮らしは、自然を大切に自然の恵みとともに生活するという、無駄のないまさにエコな暮らしです。子どもたちが、そのことに気づくことができるようにしていきたいと考えています。

## 4年生の取り組みを紹介します。

### 「吾妻川のひみつをさぐろう

### ～逢坂エコレンジャー～

4年生のめざす子どもの姿は「地域の環境保全活動を知り、それらを実践したり地域に働きかけたりできる子ども」です。子どもたちは、校区を流れる吾妻川の秘密を探るため、上流、中流、下流、そして河口までを実際に歩いて川の様子を知り、さらに川に入ってグループごとに調査を行いました。子どもたちは、水質調査をしたり、生息する生き物を調べたりと、意欲的に活動しました。現在の吾妻川の様子を学習した後は、過去の吾妻川の様子や地域の方々の川を守るための取り組みについて学習しました。過去の吾妻川を知るにあたって、昔の川の様子をよく知っておられる地域の方や、「逢坂の川を愛する会」の会長さんを講師にお迎えしてお話を伺うこともできました。「昔の吾妻川ってこんな様子だったのか。」「想像と違って驚いた。」と意外な事実を知って驚きの声もありました。

今後は、地域の大切な川を守るために自分たちにできることは何なのかを、じっくりと考えていきます。



環境学習支援士の方々に、水生昆虫の種類や特徴について教えていただきました。

吾妻川の水を使って魚を育て、卸売りや加工をされているお店を見学させていただきました。



川に入って、グループごとに調査活動を行いました。



# エコスクールだより

大津市立逢坂小学校

環境教育通信

No.3

2016.12.22



冬至が過ぎ、日の入りの早さに年末を実感するところとなりました。たくさんの行事があった2学期も終わりに近づき、いよいよ冬休みを迎えます。

「エコスクールだより」では、本校の環境教育の取り組みや各学年の学習の様子を皆様にお伝えします。今回は、2学期を中心に環境の学習に取り組んだ学年を紹介します。

## 1年生の取り組み



1年生の生活科「くさきも わたしも ころもがえ ～あきランド～」の学習では、まず丸山公園で秋探しを行い、自然の良さを感じる活動を大切にしました。子どもたちは、公園を駆け回り、夢中になってどんぐりやり、落ち葉や枝などを集めました。そして、集めたどんぐりや落ち葉などでおもちゃやゲーム、飾りなどを作り、「あきランド」としてお店を開きました。今年度も逢坂幼稚園の子どもたちをお客さんとして招待することで、よりよいものを作ろうと工夫することや、友だちと力を合わせることができました。



### 子どもたちが考えたお店（一部）

どんぐりボーリング      どんぐりごま  
まつぼっくりツリー      まとあて  
どんぐりころがし

作品づくりで困った時は、友だちと互いに教え合ったり助け合ったりしながら作業に取り組むことで、みんなと協力してよりよい人間関係を築く力を伸ばしました。また、秋の素材を使った遊びをたくさん考え出すことができ、工夫する力も伸ばしました。今年度の実践を、来年度からの学習に生かしていきたいと思えます。

## 2年生の取り組み



2年生では、1学期にビオトープの探検をし、生き物の様子を観察したり、ザリガニを採集したりし、生き物とふれあう学習をしました。2学期には、校庭や丸山公園で虫を探し、学級で飼育を始める子どもたちも見られました。えさを用意したり、虫かごの中に草や土を入れてすみかをつくったりする姿から、大切に

育てたいという思いが伝わってきました。また、興味を持った生き物について詳しく調べ、交流する活動も行いました。このような取り組みを通して、生き物や生き物がくらす環境を大切にしようという気持ちが育ちました。

また、ダイコンを育てる活動にも取り組みました。ていねいに種をまき、毎日欠かさず水やりをしながら、少しずつ大きくなるダイコンの様子を観察しました。そして、つい先日、とうとう大切に育てたダイコンの収穫の日となりました。子どもたちは、歓声をあげながらダイコンの収穫を楽しんでいました。



ビオトープ探検



丸山公園の探検



ダイコンの収穫

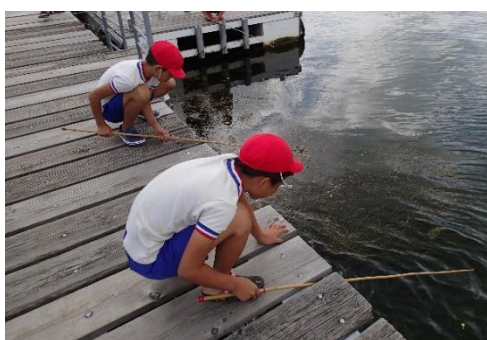
## 5年生の取り組み

5年生では、毎年、びわ湖環境を題材として、滋賀県の環境問題の学習に取り組んでいます。5年生のめざす子どもの姿は「滋賀県の環境問題を知り、自分の生活を改善したり、自分の考えを発信したりすることができる子ども」です。そこで、「びわ湖を守ろう！」をテーマに、学習を進めてきました。

まず、オーパルでの環境学習など、実際のびわ湖に触れる活動を取り入れました。子どもたちは南湖の近くに住んでいるので、学習する前のびわ湖に対する印象は、「水があまりきれいではない。」など、あまりよくありませんでした。しかし、湖上でのカヌー体験では、「水が透明だ！」「水草や魚がよく見える。」などのうれしそうな声が聞こえてきました。このような体験をすることで、びわ湖に対する印象が変化し、興味、関心が高まっていきました。そして、それぞれが追究したい課題を決定し、調べ学習を進めました。



カヌー体験



外来魚釣り



プランクトン観察

### 追究したテーマ

- ・水質
- ・ヨシ
- ・水鳥
- ・外来魚
- ・藻
- ・ごみ
- ・固有種
- ・プランクトン

調べてわかったことや、考えたことをまとめ、さらに、フローティングスクールで学んだことや感じたことも取り入れて、びわ湖を守るためにできることを考え、発信しました。

子どもたちが、生涯にわたって、びわ湖を守っていく行動ができることを願っています。

